

「なごやか農楽会」だより 65号

2021.2月(春)号



2020年度(20期生)修了式

- ◇ なごやか農楽会からのお知らせ
～ 2021年度(20期)総会開催のご案内 ～
～ 農業ボランティア育成講座募集始まる ～
- ◇ 援農作業予定 (3～5月)
- ◇ 援農作業実績 (11～1月)
- ◇ 農家さん紹介/あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

令和3年度(20期) なごやか農楽会総会のご案内

令和3年度(20期)なごやか農楽会総会を次のとおり開催いたします。

コロナ禍における総会のため大人数を収容できる施設(300人以上)での開催を目指し検討を進めてきましたが施設を確保することができず、従来同様名古屋市農業センターで開催することいたします。コロナ感染対策のため農業センター農業指導館の収容人数が通常時の約半数となるため、総会会場の分散(2会場同時開催)及び総会時間の

令和2年4月18日(日)総会開催

分散(開始時間を午前、午後の2回とする等)を検討しましたが、会場の分散は農業センター施設の一部が工事のため使用できなくなる可能性が高いことから総会時間を分散して開催することとします。具体的には次頁をご覧ください。

なお、農業ボランティア育成講座(20期生)修了式が、2月6日開催され、修了生(24名)が、なごやか農楽会に入会されます。

なごやか農楽会からのお知らせ

1. 開催日：令和3年4月18日（日）
2. 開 会：開始時間分散方式
A（てんぱく、港・中川支部）午前10時～12時
B（みどり、もりやま支部）午後13時～15時
（受付開始：開会時刻の30分前から）
（総会閉会后：支部総会を行います）
3. 閉 会：A 午後12時45分（予定）
B 午後15時45分（予定）
4. 会 場：名古屋市農業センター農業指導館
5. その他：令和3年度なごやか農楽会の総会運営は会則に基づき会長が評議会に提案し評議会において審議の上決定させていただきます。

（お願い）

◎総会受付にて2020年度会費1,000円お支払いください。

◎当日は名札（修了証）を着用願います。

◎当日欠席の方は4月30日までに以下の口座へ振込み（注）をお願いします。

振込先：ゆうちょ銀行振替（記号12100）

口座名：なごやか農楽会

種類：普通口座 番号68446931

（他銀行からは、店番218—6844693）

（注）当日、総会受付で代理徴収が出来ます。

（総会に参加されるお知り合いの会員に会費をお預けし、代理徴収をお願いする方法です）

総会直前の総会のご案内は、行いません。

（本日よりにてご案内に替えます）

ご承知おき願います。

農業ボランティア育成講座受講希望者説明会開催のお知らせ

農業ボランティア育成講座とは、市民を対象として実際の農業を知るための講義と実習を行い、講座終了後に名古屋の農業の応援団として活躍いただける人材の育成を目的として開く講座です。

平成13年度から実施しており、これまでの卒業生は現在も農業ボランティアグループ「なごやか農楽会」の一員として活躍しています。なごやか農楽会の会員になるためには、講座の受講が必要です。

説明会参加には、事前の申込みが必要です。

定員 80名（定員を超えた場合は抽選）

日時 令和3年4月3日（土曜日）午後

場所 名古屋市農業センター

（天白区天白町平針黒石2872-3）

説明会参加申込期間(事前)

令和3年3月1日から3月20日(当日消印有効)

申込方法（3月1日からです）

往復はがきの場合 募集要項の最終ページの申込書に必要事項を記入のうえ、往復はがきに貼ってお申込みください。（募集要項は農業センター、区役所、図書館等で配布、もしくは、名古屋市のwebよりダウンロードしてください。

名古屋市のwebは

名古屋市農業ボランティア育成講座

検索

インターネットの場合

名古屋市電子申請サービスからお申込みください。

名古屋市電子申請サービス

<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

お問い合わせ

名古屋市農業センター農業ボランティア担当あて

電話番号052-801-5221

評議会報告

報告・審議・検討事項

11月度会議（11月7日開催）

（1）新規援農先 について（港・中川支部長）農業センターから新規援農先農家さんの話があった。水耕ミツバについての作業等1年を通じた作業がある。新規援農先として承認された。登録は手続き上、来年度となるため今年度は試行期間とする。

（2）先日JAなごやと打合せを行った際、JAなごやで貸し農園を募集する予定。10坪/区画、年間1万円程で借りることができそうとのこと。パンフを入手したらまたご紹介する。

12月度会議（休み）

1月度会議（1月9日開催）

（1）12月天白支部、みどり支部から港・中川支部へ計4名の相互応援を行った。

（2）ホームページプロジェクトを12月に立ち上げた。まずは、手本となる他のホームページの構成をサーチしていく。

（3）育成講座（20期生）修了式等について2月6日（土）午後1時～修了式が開催される。会長、副会長、事務局長出席でお願いします。修了生は24名。支部の内訳は、てんぱく支部8名、みどり支部2名、もりやま支部7名、港・中川支部7名。

（4）20期総会開催案内等について農楽会だより2月号に掲載する20期総会開催の案内文について検討し承認された。分散開催となるため、午前、午後の支部割り振りについて検討し、午前は10時からてんぱく、港・中川支部、午後は13時からみどり、もりやま支部に決定した。総会における議題の承認は従来どおりとする。

（5）20周年史準備・実行委員会活動等についてこれまでの経緯、10月から準備・実行委員会活動を開始したこと等の説明の他、年史作成部数を300から500部に変更すること、配布予定の22年度総会欠席者へは郵送にて配布（配布不要も有り）することとし、費用は会員負担とすることを決定した。

☆（評議会議事録本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります）

援農作業予定 (3～5月)

てんぱく支部



たまねぎの収穫

3月
トウモロコシ、枝豆の植付け
甘夏の収穫など

4月
カボチャの植付け
ブドウの花切り

5月
ブドウの花切り
タマネギの収穫

みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

3月
中玉トマト、ミニトマト収穫、脇芽とり
下葉かき、ピーマン・ナス播種など

4月
中玉トマト、ミニトマト収穫、脇芽とり
トーン散布、下葉かき、サツマイモ畑堆肥
苦土石灰散布、畑耕耘など

5月
中玉トマト、ミニトマト収穫、脇芽とり
小梅収穫、水稻種まき、下葉かき
桃の袋掛け、巨砲の花穂切（前半）
摘粒及び房落とし（後半）、サツマイモ畑堆肥
散布、耕耘、畝立て、マルチ張り、
幼稚園児の苗植え手伝い、ブロッコリー苗植えなど

援農作業予定 (3～5月)

もりやま支部



トマトハウスでの作業風景

3月

トマト下葉とり・紐つり、畑整理、ぶどうの皮むき、ブルーベリーの剪定など

4月

トマト下葉・わき芽とり、野菜収穫、畑整理
カラス対策（ネット張り等）、ぶどうのつる切り
除草、ブルーベリーの剪定、摘花、施肥など

5月

トマト、野菜収穫、袋詰め、畑整理、ぶどう誘引
房作り、ブルーベリーの剪定、ネット張り
梅収穫など

港・中川支部



トマトハウスでの箱作り

3月

糸切り、紐抜き、箱作り、とうもろこし苗準備
ブロッコリー収穫、ミツバの整理、ジャガイモ
植え付けなど

4月

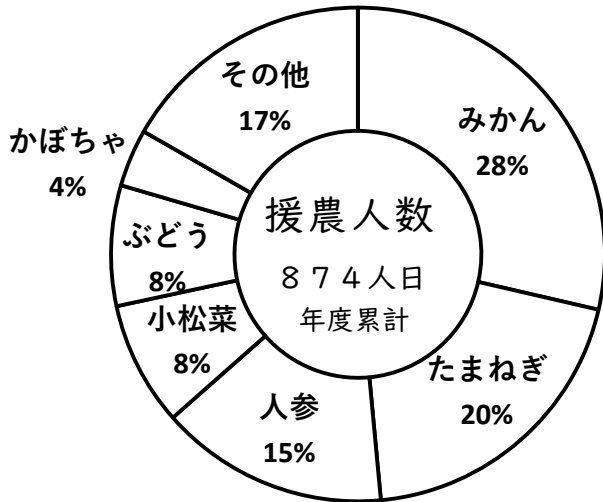
糸切り、箱作り、ジャガイモ・とうもろこし
植え付け、ミツバの整理、玉ねぎ収穫、里芋・
キュウリ・ナスの植え付けなど

5月

紐抜き・箱作り、水耕ネギの整理、ジャガイモ
収穫、とうもろこし畝の草取り、ミツバの整理
さつまいも・ナス・キュウリ・ピーマン・
落花生の植え付けなど

援農作業実績 (11~1月)

てんぱく支部



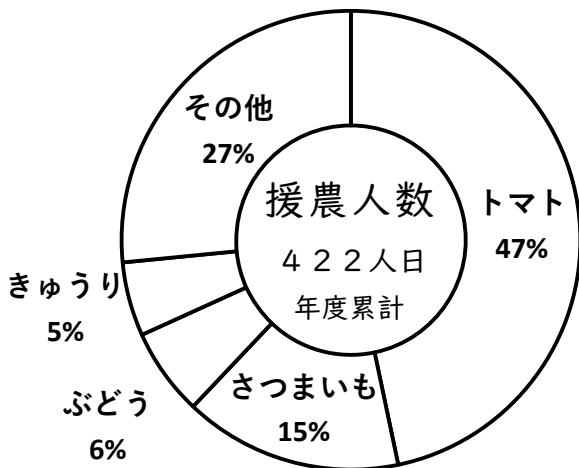
1人日=1人1日3時間の援農作業

三か月間(11月~1月)の援農実績は、431人日。年度累計は、874人日。
三か月間の援農先は、5農家。

援農作業は、玉ねぎの定植、みかん収穫、小松菜揃え、ぶどうの剪定等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 158人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 500人日

みどり支部



1人日=1人1日2時間の援農作業

三か月間(11月~1月)の援農実績は、130人日。年度累計は、422人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、トマト栽培とさつまいも栽培に関わる作業です。トマトの作業は、トーン散布、誘引、下葉かき、下葉とりなど、さつまいもは、つる切りと幼稚園児の収穫補助です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 272人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 550人日

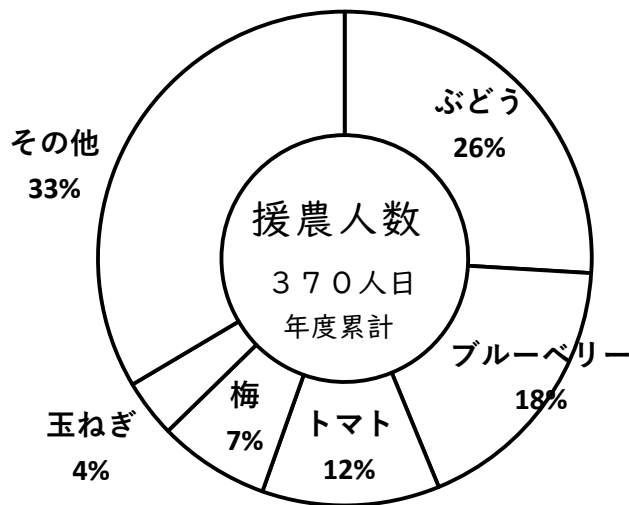
援農作業実績 (11~1月)

もりやま支部

三か月間（11月～1月）の援農実績は、95人日。年度累計は、370人日。
三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、トマト・えんどう、小松菜・カリフラワー片付け、小松菜収穫、ピーマン・モロヘイヤ、小松菜・大根菜畑片付け、玉ねぎ植え、ぶどう蔓切り、梅・柿剪定、みかん収穫など

昨年度（11月～1月）の援農実績 83人日
昨年度（4月～1月）の累計実績 343人日



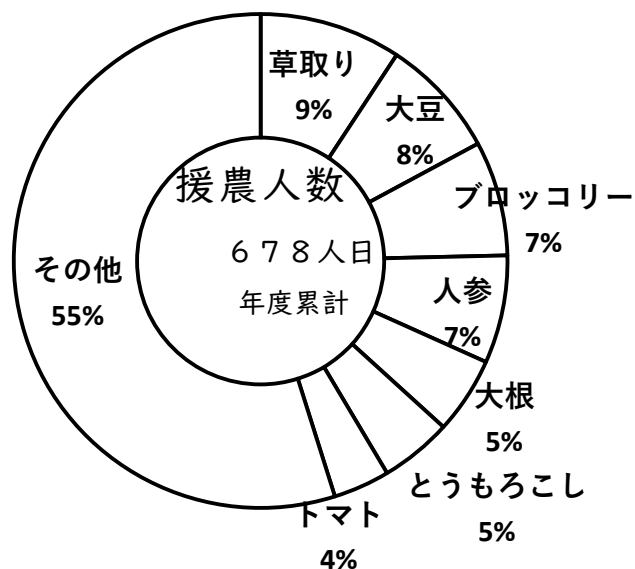
1人日=1人1日2時間の援農作業

港・中川支部

三か月間（11月～1月）の援農実績は、186人日。年度累計は、678人日。
三か月間の援農先農家は、5農家。

援農作業は、ブロッコリー畑草取り、サツマイモの選定、収穫、サツマイモ収穫体験の手伝い、レタスの袋詰め、里芋の小芋外し春菊の出荷準備、ブロッコリー・里芋の袋詰め、ミツバの出荷調整、里芋の手入れ、ブロッコリーの収穫と袋詰め、人参・里芋・菊芋の収穫など

昨年度（11月～1月）の援農実績 114人日
昨年度（4月～1月）の累計実績 482人日



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業

農家さん紹介

今回は寺島正さんを訪問しました。農家に生まれ3代目(80才)です。息子さんの4代目昭彦さん(53才)が、最近会社を辞めて一緒に農業を始めました。作物は、にんじん、栗味かぼちゃ、たまねぎ、サツマイモ、大根、キャベツなど多種の野菜を栽培、出荷しています。畑は、都市計画での区画整理で何か所かに分かれています。大きい畑で460坪の広さです。天白区で唯一の田んぼで稲作も行っています。4俵のお米が収穫できます。



寺島正さん

寺島正さんのお宅は、菅田神社の近くです。伺ったときは、サツマイモ(紅はるか)の選定作業をしてらっしゃいました。なごやか農楽会とのかかわりは、名古屋市が農業ボランティア育成講座「なごやか農学校」を創設時、農業委員をしていたので必然的に援農先農家となりました。作物は八事五寸人参、栗味カボチャなど多種の野菜を栽培しています。特に人参はいちの伝統野菜である八事五寸人参に力をいれ種を毎年自家採取して栽培しています。10年ほど前、品評会で名古屋市長賞をいただいたこともあります。また、最近では「人参の種まき」の講習会を頼まれたりしています。地域とのかかわりとして、幼稚園の芋掘り、市民収穫体験農園(ふれあい農園)に参加しています。農業を取り巻く環境は大きく変わりました。野菜を出荷するための選別は厳しくなりました。人参は大きさ、形など10段階に分けなくてはならないのです。畑の周りには住宅が増え、住民からの苦情がこないように野菜の消毒には特に気をつかいます。農楽会の人達には、特に新しい人には積極的にボランティアに参加してほしいと思います。作業によっては、慣れている人を望まれる場合もあるが、自分は新人でも受け入れはできます。

息子さんと地道に、天白の農業を続けていただけたら素晴らしいと思いました。



紅はるか

はじめよう！ 家庭菜園 (*1)

今月号は育苗についてです。育苗とは野菜は花の苗を育てること。

野菜や花などの苗は品目によって畑に直接種をまくこともあります。一般的にはセルトレイやビニールポットなど小さく区画のある容器で管理し苗がある程度大きくなったら移植して植え付けるのが主流です。



1. 育苗の温度管理で重要なことって何だろう

春まきの種はまだ寒さが残る早春にまきます。多くの種の発芽適温は15~25℃ぐらいなのでこの時期の育苗には温度管理が重要となります。有機農家であれば落ち葉などが分解するときの発酵熱を利用して温める「踏み込み温床」などを利用するのですが家庭菜園で難しい場合は簡易なビニール温室や衣装ケース、発砲スチロールの箱などで代用可能です。

2. 育苗のメリットって何だろう

- ・種を畑の畝などに直接まくよりも種が雨や風などで流されにくい。
- ・間引き、除草や病害虫防除が容易にできる。
- ・畑に野菜を植えておく時期が短縮され、他の野菜を栽培することができる。

3. 育苗管理のポイントって何だろう

育苗管理のポイントは畑での様々な体験を育苗期間中に経験させることです。温度変化や乾燥・湿気のある状態を体験させることで育成のバランスを保ち、野菜や花の充実を図るメリハリある管理をしましょう。

4. 育苗で注意すべき点って何だろう

- ・家庭菜園で野菜を育てる場合畑に苗を植え付けるのに向いているものと畑に種をまきの方が良いものがあります。
- ・基本的に畑に直まきするよりも育苗の方が温度管理がし易く丈夫な苗になります。
- ・トマト、ナス、ピーマンといった果菜類は種をまいてから実をつけるまで時間がかかり育苗の時期は低温であるため難易度が高くなります。
- ・このような野菜の場合は、畑に直まきや育苗も容易でないため苗を購入の方が良いでしょう。
- ・ダイコン、ニンジンなどの根菜類は生育途中で植え替えると又根になるなど根付きが悪くなります。そのため育苗して畑に移植する方法は向いていません。
- ・コマツナ、チンゲンサイなど葉菜類の中でも生長が早いものは直まきに向いています。
- ・このように野菜によって育苗の方が良いもの・しない方が良いものがあるためそれぞれの野菜に適切な方法をとって下さい。

(*1) はじめよう家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。

あいちの伝統野菜

今月号はダイコンです。大根は日本の食卓（鍋料理・おでん等）に欠かすことのできない調理法の多い野菜です。主根が肥大し、栄養を貯蔵することから長く大きいものが良いとされてきたが現在は取扱いが便利で手頃な長さが歓迎される傾向にあります。

原産地については異論が多いが、コーカサス地方南部からパレスチナを中心とした地域と推定されています。古代エジプト（紀元前27～22世紀）のピラミッド建築の際、タマネギ、ニンニクと共にダイコンが食物として与えられました。ギリシャ、ローマでは神への供え物に用いられ、主要な野菜とされていました。ヨーロッパのダイコンは一般に小形で普及は遅く、イギリスは15世紀から栽培され、アメリカには16世紀に伝わり品種数が増加したのは19世紀以降です。中国には古代に西域から渡来したとみられています。

日本では日本書紀（720年）の仁徳天皇の歌に「山城女の木鍬持ち打ちし於朋泥（おほね）さわさわに汝か言へせこそ・・・」とあり古くから野菜や漬物として利用されました。室町時代の書物に大根（ダイコン）との記述があります。

江戸前期にいくつかの品種が成立しダイコン栽培が進みます。農業全書（注1）は、野菜の最初にダイコンをあげ、尾張、山城などの勝れた種を求めて植えるべしとし宮の前大根、ねずみ大根などの品目をあげています。また「唐人は根葉ともに漬けおき朝夕のさいとなし、もっとも飢えを助くると書きたり。いか様山野の菜蔬多き中是に勝れる物少なし。土地多き所にては必ず過分に作るべし」とダイコンの栽培を奨励し、凶作の兆候があるとダイコンの作付けをしたことも書かれています。

宮重大根の成立について紹介します。尾張地方に華南大根の系統のすぐれた品種が古くからあり、これに岐阜・長野両県に分布する華北系の品種が交雑し江戸時代初期には尾張独特のすぐれた品種群が成立していたようです。方領大根に近い尾張大根と青首の華北系の品種が交雑して宮重大根が成立したようです。園芸発達史によると宮重大根と書かれた最初は尾張産物志（1734年）で宮重大根、落合村（春日村落合）とあります。

愛知の伝統野菜には宮重大根とともに方領大根、守口大根があります。



次号はかぼちゃを紹介します

(*1) 農業全書とは宮崎安貞著の農書。

第5代将軍徳川綱吉の時代の1697年（元禄10年）に作られた。中国の農書「農政全書」を参考にしつつ、みずからの経験と研究を元に農業技術や作物の栽培法についてまとめた書物。

日本最古の農業書で近代以前ではもっともすぐれた農書といわれ、江戸期を通して多くの人々に読まれました。あまりに優れているため、三度にわたって版を重ねた。

参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）

日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）

あいち在来種保存会

愛知県HP愛・地産・アラカルト

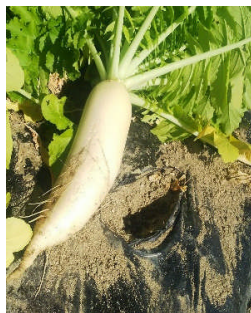
（農業水産局農政部園芸農産課）

宮重大根



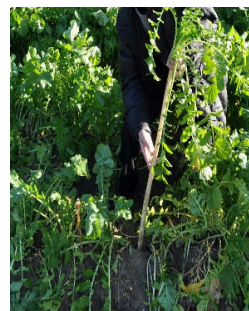
長さ40～45センチ、青首で先端は丸くなくて肩である。甘みがあり様々な料理に向く。葉は上を向き切葉である。

方領大根



根は全体に純白で、形は首が太く先端にかけて細く曲がっている。葉は横方向に展開する。肉質が緻密で柔らかく、ふろふき大根として美味。

守口大根



直径は2センチ前後、根の伸長が旺盛で長さは1メートル20～30センチ前後。長いものでは1メートル80センチ以上にも達する。肉質が緻密でしまっており、粕漬けにすると非常に歯切れが良い。

写真：あいち在来種保存会提供

編集後記

農業センターしだれ梅まつりは2/27（土）から3/21（日）まで規模を縮小して行われます。入口は正門に限定され、「検温ブース」も設けられます。今は緊急事態宣言中ですので「日中も含め不要不急の外出自粛要請」に留意ください。今年見なくても来年もしだれ梅まつりはあります。コロナ禍で皆さんの生活もいろいろ影響を受けていると思いますが、今年の総会は分散方式で実施できそうです。今年は制約の中での援農に取り組んでいきましょう。。

発行

なごやか農楽会事務局（水野・川合） 令和2年2月20日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。